

田上町 議会だより

第87号

■平成23年1月28日 発行



護摩堂山

▲ 新年の輝き

新年のあいさつ	2P
12月定例議会、意見書、請願	3~4P
臨時議会、全員協議会	5~6P
一般質問	7~12P
付託案件審査報告	13~14P
所管事務調査報告	15~16P
一部事務組合報告	17P
議員活動あれこれ／編集後記	18P

迎春



新年のあいさつ

議長 小池 真二郎

あけましておめでとうございます。
健やかに新春を迎え

謹んでお慶び申し上げます。

政治不安で今日ほど国際社会で共存していく
難しさと、地球温暖化問題がいかに重要であるか
を痛感しました。

この状況が少しでも改善できる思いで、今年こ
そ良い年になりますように、一抹の不安を抱きな
がら年頭にあたつて念じた人も多かつたと思いま
す。この流れを断つ即効薬を見つけることは難し
いかもれません。

しかし、今こそ地域から日本を変える地域主
権による新しい時代の確立が必要不可欠である
と思います。

先人が築いてきた伝統や人と人とを結ぶ絆を
大切に、時代に合った価値観で地域住民の共同で
あり共生だと思えます。

私たち議員も執行機関に対する監視機能の
充実と住民と行政をつなぐパイプ役に徹し、お互
いの役割を忘れずに新たな地方自治の創造を模
索していきたいと決意しています。

町民の皆様には、変わらぬご指導をお願い申し
上げます。

新年あけましておめでとうございます



(議席順)

吉田 昭一	児玉 輝男	坪谷 久雄	塚野 一二三	小池 真一郎	熊倉 良平	斎藤 勲	泉田 壽一	関根 一義	池井 豊	渡邊 正策	川口 與志郎
-------	-------	-------	--------	--------	-------	------	-------	-------	------	-------	--------

月定例会

12月13日～17日

TPPの議論 田上町議会でも白熱 関係機関へ独自の意見書提出



TPPとは…

環太平洋戦略的経済連携協定の略。

アジア太平洋での自由貿易圏の構築を目指すための協定。参加国間での貿易に関する関税を撤廃することが原則。

日本でも参加を検討しているが、参加すれば、農業分野で大打撃を受けることが予想される。

定例会の経過

本定例会は、12月13日から17日の5日間開催された。

初日は、諸般の報告と議案の上程（提案説明・質疑・委員会付託）に続き、4名の一般質問が行われた。

第2日目は、2名の一般質問が行われた。

第3日目は、総務産経常任委員会が開催され、付託された案件の審査が行われた。

第4日目は、社会文教常任委員会が開催され、付託された案件の審査が行われた。

最終日は、各常任委員長から審査報告がなされ、議案の採決が行われた。

初日 本会議

会期決定の後、各常任委員会報告・二部事務組合議会報告が行われた。

次の5議案が上程され、各常任委員会に付託された。

◆議第1号 田上町農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正について

●定数を12人から10人に改正。

◆議第2号 平成22年度田上町一般会計補正予算（第5号）議定について

●歳入歳出4千935万2千円を追加し、総額43億3千308万円とする。

◆議第3号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）議定について

◆議第4号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算（第2号）議定について

◆議第5号 同年度田上町水道事業会計補正予算（第4号）議定について

最終日 本会議

最終日の17日には、議案の採決が行われ、5議案すべて可決された。

●議員辞職願の受理

議長より、中野和美議員から本定例会を最後に、一身上の都合による辞職願がある旨の報告がなされ、許可された。

●議員辞職に伴い組合議員・特別委員の選任

加茂市・田上町消防衛生組合議員に泉田壽一議員、広報対策特別委員に池井豊議員がそれぞれ選任された。



11月に開催された臨時会で平成22年10月31日をもって、小野澤健吉議員が辞職することを許可した旨、議長から報告があった。

●議員辞職に伴い組合議員の選任

加茂市・田上町消防衛生組合議員に熊倉良平議員が選任された。

●●● 議員発議による意見書 ●●●

意見案番号	件名	提出議員	議決結果	意見書提出先
意見案第5号	「環太平洋戦略的経済連携協定」への対応に関する意見書	根 義一 泉 壽一 池 豊 渡 正策 中 野和	原案可決	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 国家戦略担当大臣

●●● 請 願 ●●●

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書提出先
請願第7号	米価の大暴落に歯止めをかけるための請願	新潟市北区葛塚3346 農民運動新潟県連合会 代表 今井 健	不採択	——
請願第8号	TPPの参加に反対する請願	新潟市北区葛塚3346 農民運動新潟県連合会 代表 今井 健	趣旨採択	——
請願第9号	羽生田集落内の町道認定についての請願	田上町大字羽生田乙509 羽生田総区 総区長 坪谷 文四	継続審査	——
請願第10号	五明寺トンネルの改修に関する請願	田上町大字原ヶ崎新田3072 湯田上温泉旅館協同組合 理事長 野澤 幸司	採 択	町長に請願書を送付
請願第11号	TPP交渉参加反対に関する請願	三条市興野3丁目10番7号 にいがた南蒲農業協同組合 代表理事組合長 吉田 文彦	趣旨採択	——

11月29日開催

第4回 臨時議会

*全9議案は、本会議で承認・原案可決しました。常任委員会の審査結果をお知らせします。



▲本会議の起立採決

総務産経常任委員会

◎議第1号 専決処分(平成22年度田上町一般会計補正予算(第3号))の報告について中

第1表 歳入
第1表 歳出の内

13款 災害復旧費
(1項、2項)

説明

平成22年9月12日の水害(茗ヶ谷川関係、護摩堂林道関係、羽生田小学校敷地内)に要

する経費334万2千円を補正。

承認

1款 議会費
2款 総務費
(1項、5項)

13款 災害復旧費(3項)

◎議第2号 田上町職員の給与に関する条例等の一部改正について

6款 農林水産業費

7款 商工費

8款 土木費

実施測量設計業務委託料73万5千円は、9月12日の豪雨により、羽生田小学校の給食棟下の法面が崩れたため、復旧費用の国庫負担金を受けるため。

◎議第3号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

13款 災害復旧費
(2項)

承認

◎議第4号 田上町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について

第2表 地方債の補正

◎議第5号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

◎議第7号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第2号)議定について

◎議第6号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第4号)議定について中

◎議第9号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第3号)議定について

説明

いずれも期末手当、勤勉手当、給与の改正により1千778万円の減額になる。

いずれも原案可決

委員長 泉田 壽一

社会文教常任委員会

◎議第1号 専決処分平成22年度田上町一般会計補正予算(第3号)の報告について中

第1表 歳出の内

◎議第6号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第4号)議定について中

第1表 歳出の内

2款 総務費(2項、3項)
3款 民生費



▲羽生田小学校の現地調査

- 4款 衛生費
- 10款 教育費
- 13款 災害復旧費(3項)

2款、3款、4款、10款はいずれも県の人事委員会勧告に沿って職員の給与などを減額するもの。

13款公立学校教育施設災害復旧費644万1千円は、国庫負担金209万2千円、起債100万円、町単独事業費334万9千円、他の合計金額。

復旧工事は法面40mと側溝工事、さらにグラウンド下の側溝38mを単独事業で修復するもの。

◎議第8号 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)議定について

この議案も県の人事委員会勧告に沿って職員給与などを減額補正するもの。

いずれも原案可決
委員長 斎藤 勲

全員協議会

平成22年11月19日

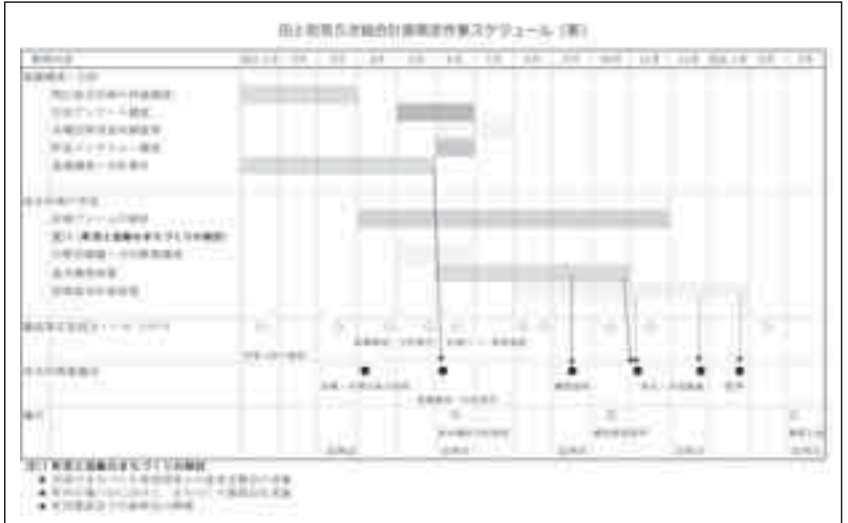
協議題

①まちづくり財政計画について

町の財政はようやく危機を脱したと思われるが、再建途上のため、生涯学習センター建設は当初予定より1年遅らせる予定である。

②総合計画について
第5次総合計画策

定に係る経過及び今後の予定について
国の策定義務の撤廃に伴い、他市町村の動向を参考にしながら第5次総合計画策定スケジュールを進めていく予定。



③旧保育所の後利用について

方針の内容

- 利用目的は「地区活動で制限なし」
- 譲渡の対象団体は各行政区に限る。
- 建物は現状のまま譲渡する。建物の維持管理費(光熱水費含む)は全額地区の負担。

- 施設の改修工事費は条例により1/2補助する。
- 解体予算の1/2を地区に供与するが、条件として町に返還する時は、地区の責任で更地にして返すこと。(全額地区負担)

12月の区長会で最終方針として説明、3月議会で提案し、議会で議決する。

④浄水場施設更新事業について
事業内容

新設する羽生田浄水場で硬度の高い大沢水源を羽生田水源とブレンド後に急速ろ過による硬度・クリプト対策を行い、滅菌後に新設する配水池から金毘羅山の既設配水池と新設する高架水槽へ送水する。

隣接する水道企業団吉田新田調整池と配管接続し、大沢・羽生田・企業団吉田新田の三系へ同一水質を配水する。

工事経費は6億5千万円程度を見込んでいます。



川口 興志郎 議員

一般質問

国民健康保険税について

損害、不作、失業、倒産など生活が困難になったときなどに適用されます。実態はどうなっていますか。

問 二十三年度の国保税を値

上げしないで頂きたいと思えますが、いかがでしょうか。

所得二百万円で子ども二人、妻扶養の四十歳代の場合、国保税を約四十万円納入しなければなりません。生活が苦しいことが考えられます。しかもこれが町民の標準です。一般会計から国保会計へ繰り入れがあつてもいいのではないのでしょうか。

次に無保険者についてです。医療機関の窓口での全額負担は厳しいです。無保険者は田上には何人の方がいますか。

また法律では減免制度が決められています。災害、資産の

町長 国保税の二十三年度分

についてどうするかは今まだ決める時期ではなく、二十三年五月ころになります。十分検討したいと思います。

一般会計からの繰り入れについてですが、国保の加入者は、町民全体の一部分であり、他の健康保険の加入者との関係も有り、慎重に考える必要があります。

無保険者の町内の人数につきましては、該当する人が全員加入することが建前になっており、届出制になっております。無保険者の人数を把握することはできません。

国の環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)について

地帯は見る影もなくなりそうです。町長の考えを伺います。

問 今、アメリカ、オーストラリ

アなど九カ国がTPPの発足に向けて交渉を開始しています。

そしてこの加盟国は関税を撤廃することを原則にしています。問題なのは、全ての品目の関税を撤廃するというTPPに日本が加盟するということです。

このことにより、農水産物、労働市場、つまり農業や雇用、暮らしなど、地域経済に壊滅的打撃を与えます。

高い関税を設定して守ってきた主食の米も関税なしでは、今でも安い外国米とでは勝負できません。

農産物が大量に輸入されれば、里山どころか、日本の農山村

町長 十月の後半に全国町村

会もこれに反対する考えを政府に届けています。それに対して政府から何の返答もありませんでした。それでは困りますので二月一日に全国町村会が開催され、改めてTPP加盟反対の特別決議をしております。

TPPに加盟しなくても従来からある二国間協定で問題の解決は十分にできるとも思っています。

経産省と農水省は意見が分かれています。食糧の自給率が四十%から十数%に下がるということは十分、慎重に考える必要があると思います。





池井 豊 議員



斎藤 勲 議員

一 般 質 問

75歳以上にも
人間ドックの
補助ができないか

問 高期高齢者医療保険が発足してから75歳以上の人が人間ドックの補助を受けられなくなりまして。町長は来年度に補助の予算づけをする考えはありますか。

町長 予防医療や医療費の抑制からも人間ドックの受診は必要です。県内での実情を参考に、来年度は補助をする考えです。

平成22年度
まちづくり財政
計画について

問1 全協で財政が厳しくなるので、五明寺トンネルと文化的施設の着手を1年延ばすという説明でした。しかし平成25年度の財政調整基金の残高は前回4千27万9千円で、今回は4億2千453万1千円です。このことについて明らかにして下さい。

町長 まちづくり財政計画はそのときの財政状況を見直しながら実現可能な事業計画を立てています。年末の交付税や交付金が増えましたが、今後は交付税の減額も予想されるので今回のような内容になりました。

5つの「田上町
活性化の為の事業案」
を提案します。

①ゆかた議会

問 田上町は言わずと知れた温泉の町です。それをPRする為に6月議会の本会議はゆかた着用に開催してはと思いません。着物を着用した議会もたくさんあります。

あじさい祭りをPRする上で「ゆかた議会」の開催を提案します。元祖クールビズかも知れません。

町長 議会が判断することであると思いますが、十分ご検討をいただきたいと思えます。しかし、これを実施して全国的に発

信できれば、それは知名度アップのPR効果や話題性は十分考えられますが、「ゆかた」はどうかという疑問視される面もあろうかと思えます。

②高齢者支援ボランティア

問 高齢者のみ世帯も多くなってきました。高齢者支援ボランティア「高齢者お助け隊」を組織しチヨットした不便を解決する仕組みを作ってはいかでしょうか。

町長 今後も社会福祉協議会とも連携をとりながら、仕事の範囲拡大や地域ボランティア団体との増強に努力して実施していきたいと考えております。

③男の居場所作り

問 高齢者の居場所作りが課題になっていきます。特に男性は高齢になると居場所を失うケースが多いようです。

「コミセンや交流センターを活用して」「〇〇倶楽部」なる男の

問2 五明寺トンネル改修工事は大型バスが往来できる工事計画です。この工事によってバスと観光客はどれくらい増加しますか。

また付随する工事費用、護摩堂山を中心とした交流事業計画、周辺のインフラ効果を明らかにして下さい。

町長 現在は測量、設計業務を行っています。指摘の件も点検作業を行っており、計画が出来次第報告します。



▲混雑する護摩堂山の駐車場の整備も必要

居場所を作ってはどのようにか。

町長 生きがい対策として、関係団体と模索していきたいと考えております。

また、地区公民館活動等、地域からの男の居場所づくりにも期待をしています。



▲男のそば打ち道場の様子

④YOU・遊ランド、オートキャンプ場化

問 YOU・遊ランドのキャンプ場は20年近く前にデザインされたものです。キャンプブームが多様化、オートキャンプ人気が高まっている中、リニューアルが必要と思いますがいかがでしょうか。

非正規職員の
処遇改善を

問 町は多数の非常勤・臨時職員を雇用していますが、その人数と処遇改善をする考えはなにかお聞きします。

また、非常勤職員が物件費となっているのを、人件費として分かるようにすべきではありませんか。

町長 現在までに107名を非正規で雇用しています。その中で23名以外は短期・短時間雇用です。

取り敢えず来年度から、保育士は1千円、保健師等は1千200円にするよう指示しました。非正規職員を人件費と表すことは同感です。

町長 設置場所・道路等の問題はありますが、リニューアルの効果も大と考えられますので、指定管理者等の意見も聞きながら、前向きに検討したいと思っています。

⑤サッカー場整備と多目的広場

問 信濃川河川敷に町と各団体と連携のもとサッカー場整備はできませんか。

また、こういう施設は災害時の避難場所、ヘリポート、支援基地としての活用ができる非常に重要な場所になります。

町長 下流事務所とも話し合いをしてきた経過がございます。河川敷の利用については各地の例もあるので状況を調べて話し合いをしてまいります。ヘリポートは大変いいアイデアでございますので、設置できるようにしたいと思っております。



関根 一義 議員

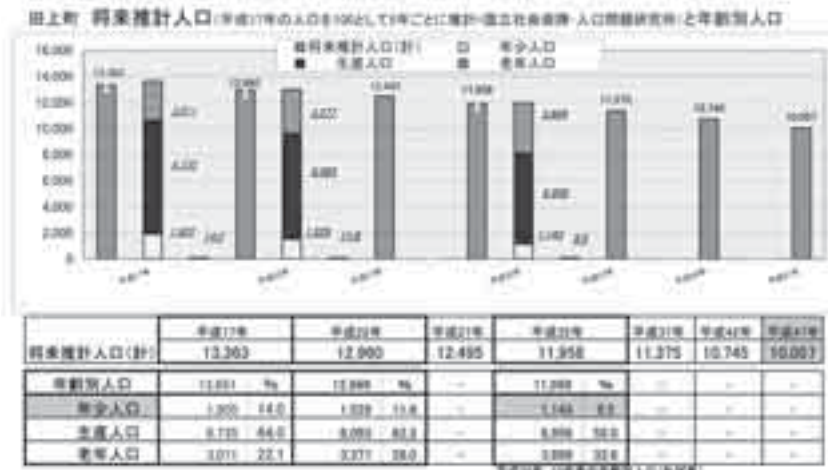
全化項目を予算要求に反映させることを基本としている。また新規事業は法的義務付けのあるもの及び町づくり財政計画の主要事業に沿ったもの以外原則として有り得ないとしている。



渡邊 正策 議員

田上町は、10年後の平成32年には年少人口が10%を切り、25年後には町の人口が1万人を割ると推測されます。(左表参考)

田上町の人口が1万人を割る時



23年度予算編成の基本方針は

問 平成23年度予算編成に当たり、どのような指針と基本方針で臨んでいるのか。

町長 第二に町の活性化を考慮し、緊急性・必要性の高い事業への重点的、効率的な要求であること、第二に行財政の効率化から既存の全制度・施策の見直しを行い、事務事業の改廃、簡素化を図ること、第三に財政の健全化項目を予算要求に反映させることを基本としている。また新規事業は法的義務付けのあるもの及び町づくり財政計画の主要事業に沿ったもの以外原則として有り得ないとしている。

企画推進室を新設し、将来ビジョンづくりを

問 ①国が支援する自然エネルギー活用事業などに積極参画を図る。②重要施策を遂行する為、固定的経費削減に目標管理の導入を図る。③農・商・工との連携を強化し、技術革新・地産地消への支援を図る。を掲げ、若者を引き寄せる、夢と希望が共感できる町づくり「エコタウン田上」の将来ビジョンづくりに、民間・住民目線で取組む事を提案します。

町長 ささまざまな角度から具体的な提案を頂きました。今後計画を推進する際には、具体的な数値を入れて検討し、また人口問題とか個別的なビジョンについても参考にしていきたいと思っ

産業活性化プロジェクトの活動状況は

問 プロジェクトは、企業誘致をはじめ、商工業の育成の推進、産業の振興を図ることを目的に設置された。

町長 当面は急を要する本田上工業団地への企業誘致を検討することで指示している。利用形態の検討としては分譲価格あるいは企業誘致、借地関係など、造成計画の見直しとして未造成地について検討し方向性を出している段階である。専任者の配置については、販売専任者と理解し、検討していきたい。

将来ビジョンづくり基金積立を

基本的には、町の財政を確かなものにし、どなたがやっても町づくりが可能だという、安定した財政基盤をつくる事が私の責務だろうと思っています。

問 生涯学習センター建築基金積立を(仮)将来ビジョンづくり基金積立に改め用途を広げ、年間積立て額を町税歳入の10%を超えない範囲とする提案をします。

町長 当然これは町づくりの財政計画と切り離してはできません。将来ビジョンのためには、毎年の見込みが当然必要ですので、毎年の見込みの段階で検討させていただきます。

TPPへの対応はどうあるべきか

問 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への対応を巡り激しい議論が展開されている。日本農業を守るためには「持続可能な具体的農業政策」の確立と国民的合意を図るたたいこそが必要である。

町長 市長会、町村会も反対の決議がされている。交渉に入る前に十分な検討を重ねるとい方向が出ていることから慎重に対応すべきだろう。

R403号バイパスの開通を最優先に

問 命の大動脈403号バイパス(旧小須戸まで)の開通を町民は待っており、最優先で取組んで頂きたいと願っています。町長の見解を伺います。

町長 田上町内の未買収区間の内、才歩川から町道中店・後藤1号線(田上駅裏)までの890mの契約が終了し、平成23年度以降は順次町道中店・後藤1号線から新潟市の境界までの910mの設計及び用地測量を行い、用地買収に入ります。

また、町道本田上・横場線から才歩川を越え県道新潟・五泉・間瀬線までの工事を早期に供用したいという事です。一刻も早い開通に向けて最大限の努力をしてもらいたいと思っています。

町出資の農業法人設立の必要性

問 農業を基幹産業とする当町において、耕作離脱の急増が予測される。優良農地の受け皿として町主導の農業法人設立が必要でないか。

町長 町内では、一法人、五集落営農組織が存在している。今後集落営農組織に法人化の働きかけをしなければならぬが、町主導の営農法人の設立の提言に関しては、出資の方法、運営面など問題点のクリアできるように今後研究していきたい。

一般質問



中野 和美 議員

介護について

問 「なたきり老人等介護手当支給事業」「福祉タクシーの利助成」「紙おむつの支給」など他市町村と比較し、助成額の引上げ検討をお願いします。認知症への対応を含め、現状と今後の介護事業への取り組みについての考え方をお聞かせ下さい。

町長 助成額は財政との関係もあり、当初より少し引き下げたということがあります。今後は必要に応じて助成額を検討したいと考えています。

認知症サポーター養成研修を展開しまして、認知症の知識及び予防についての普及啓発を図り、介護予防事業により力を入れ、取り組みたいと考えています。

自殺対策について

問 3年に渡っての自殺予防対策事業は2年連続で講演会やリーフレットを作成に利用されていますが、そろそろ実践的に動き出す時期に来ているのではないのでしょうか。

学校教育においても、命の大切さ・かけがえない命の重さ・唯一無二の一人である事を重視しこれからも指導していただきますよう。

町長・教育長のお考えをお聞かせください。

町長 この自殺に対しては3カ年の事業が終わっても、だんだん確信に迫るような講座なり、対象者を絞りながら無駄に命を絶つことの無い様に、町としても努力をしていきたいと思えます。

教育長

はじめの有る無しに関わらず、自らの命を絶つという痛ましい事故を発生させてはなりません。すべての学校において、いじめ対策の総点検をお願いしたところです。

応急診療所、救命救急センターについて

問 応急診療所開設の昨年4

月から今年10月末までの各市町村別利用状況についてお聞かせください。

この10月末までに加茂消防は応急診療所へ一度も救急搬送実績が有りません。21年12月の加茂・田上消防衛生組合議会でも取り上げられましたが、提供された資料はその理由にならず、継続審議となりました。応急診療所・救命救急センターに

ついて町長の考え方をお聞かせ下さい。

町長 応急診療所利用状況は加茂市で1千782人(6・23%)、田上町は合計で636人(2・23%)でした。地域からの期待は、はつきりしていますので、三条市長が中心になって加茂市へ加入の呼びかけをしていくということになっています。

救命救急センターは、まずは十分に医療機関の関係者で検討し、設置の場所・資金の問題については市町村長が入るといいう方がベターだと思っております。



付託案件審査報告

総務産経常任委員会

◆議第1号 田上町農業委員会の選挙による委員の定数条例の二部改正について

説明

●12人を10人に2名削減するもので、9回の審議の結論

◆議第2号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第5号)議定について中

議定について中

第1表 歳入

第1表 歳出の内

1款 議会費

2款 総務費(1項)

5款 労働費

6款 農林水産業費

7款 商工費

第2表 継続費補正

第3表 地方債の補正

説明

●保険基盤安定の為に国と県

より375万7千円を補正額として受け入れるもの

●地域子育て創生事業の為に県より941万円を補正額として受け入れるもの

●新型インフルエンザワクチン接種助成費を県より207万3千円を補正額として受け入れるもの

●緊急雇用創出事業臨時特例基金補助金を県より82万8千円を補正額として受け入れるもの

●農業経営基盤強化資金利子助成事業と農地利用集積事業で県より56万円を補正額として受け入れるもの

●継続費補正は地方自治法の改正により総合計画策定事業が廃止になり、町の現状に即応した策定を2カ年に亘る為

●地方債の補正は議会議決の結果が起債の時の証明書として必要の為

◆議第5号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第4号)議定について

説明

●企業債の補正を議会に提出する必要がある為に今回提出するもの

いずれも原案可決

◆請願第7号 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

●不採択すべきものと決定

◆請願第8号 TPPの参加に

反対する請願

●趣旨採択すべきものと決定

◆請願第9号 羽生田集落内の町道認定についての請願

●継続審査すべきものと決定

◆請願第10号 五明寺トンネルの改修に関する請願

●採択すべきものと決定

◆請願第11号 TPP交渉参加反対に関する請願

●趣旨採択すべきものと決定

◆請願第11号 TPP交渉参加反対に関する請願

●趣旨採択すべきものと決定

説明

●いずれの請願も紹介議員より説明を受けて質疑を重ねた審議の結論です。尚、表題は同じでも提出者の別があります。

◆意見案第5号 環太平洋戦略的経済連携協定への対応に関する意見書

●総務産経常任委員会総員の意思として提出したものです。

委員長 泉田 壽一



▲総務産経常任委員会

社会文教常任委員会

◆議第2号 平成22年度田上町一般会計補正予算(第5号) 議定について中

歳出

第1表 歳出の内

- 2款 総務費(2項)
- 3款 民生費
- 4款 衛生費
- 10款 教育費

2款 総務費(2項)1万1千円の増額は、徴税嘱託職員の共済費で社会保険料率の改定によるもの。

3款 民生費の地域子育て創生事業941万円の増額は、国から県を通して100%受けるもの。竹の友幼稚園の絵本や書棚、室内遊具、空気清浄機などの購入費に充てる考え。

4款 衛生費の子ども医療助

成事業で14万7千円の増額は、通院医療費の助成が小学校3年生から6年生までになったことによるもの。



▲竹の友幼稚園

10款 教育費で教育振興費132万円の増額は、私立幼稚園や保育園に通わせている保護者に、4ランクに分けて補助をするもの。

田上中学校その他事業134万4千円の増額は、プール脇の浄化槽のプロローポンプを交換するもの。

工事請負費89万3千円の増額は、羽生田野球場の内野の整備をするもの。

◆議第3号 同年度田上町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)議定について

歳入

国庫支出の普通調整交付金54万7千円は、退職者70歳〜74歳の医療費20%を10%に1年間延長するための経費。繰入金金の国保給付準備基金2千891万7千円は、今後の歳出が見込まれるため。

歳出

償還金88万2千円は、平成21年度の特健健診の事業確定による返還のため。

◆議第4号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定について

歳出

居宅サービス給付費3千364万3千円の増額は、225人から250人に増えたこと。施設介護給付費3千82万7千円の減額は、9名減ったことによるもの。

二次予防事業対象者把握事業32万2千円の増額は、65歳以上3千世帯を3年かけて調査するもの。

いずれも原案可決

委員長 斎藤 勲

所管事務調査報告

総務産経常任委員会

◆期 日

平成22年10月27・28日

◆視察先

- 栃木県宇都宮市
- 茨城県久慈郡大子町
- 福島県東白川郡塙町

◆目 的

- 道の駅の現状
- 交流人口拡大政策
- 指定管理者制度の現状

栃木県宇都宮市

農林公園「ろまんちっく村」は平成8年に市制100周年を記念して総工費152億円の巨費を投じてオープンした施設です。総面積は46haで敷地内に地ビールの製造工場、レストラン、日帰り温泉施設、宿泊施設、農産物の直売所、3haの農地と1haの体験農園と自然を残した里山の林が

点在する構成になっている。管理運営は第三セクターで運営してきたが経営状態が悪化した為、平成17年に指定管理者制度の導入を決定した。平成20年度から10カ年契約、指定管理料は当初3億円から1億9千万に年次減額される内容である。

光熱費だけでも月1千200万円必要だが年間入場者を10万人、物販も9億6千万円を確保した。目標はもつと上に設定して農業の6次産業化を可能にすることで農業所得の確保が可能となり、それが就農者の確保につながる。

とにかく、この宇都宮市を何とかしたいとの強い熱意に感銘を受けた宇都宮市研修であった。

茨城県久慈郡大子町

天から与えられた「袋田の滝」という最高の自然条件を最大に活用して交流人口の拡大と町づくりを行っている。茨城県の最北

に位置し、山間の町である事を利点として袋田の滝を柱に周辺整備を行い、平成21年度に83万人を集客している。その周辺には民間のホテルや旅館、そして土産物店や食堂、レストランが営業に励んでいる。町は土地開発公社を、財団法人大子町開発公社に変更して経営し、滝の見物客を日帰り温泉施設、オートキャンプ場、道の駅奥久慈だいが、多目的温泉プールの方へ人の流れをつくり、目標は20万人を目指している。

福島県白河郡塙町

「道の駅はなわ」R118号沿いにあり、総事業費3億4千600万円、その内、国県の補助が1億6千800万円、敷地面積1.1haの中に配置されている。この施設は農林水産物加工直売、食材供給施設として建設され、駐車場とトイレは県が、その他は塙町で管理運営されている。ここも農産物加工等で付加価値をつけ

て、一つの農商工連携の形が見えた。

何れの町も財政難の中で、自立の町づくりに取り組んでいるが、周辺と競合することの難しさを感じてきた。



▲ろまんちっく村にて

◆お詫び

平成22年10月発行の議会だよりで誤りがありましたので、訂正いたします。
12ページ1段目

【誤】

●長岡市(長岡ニュータウン譲の工業団地と宅地分譲)

【正】

●長岡市(長岡ニュータウンの工業団地と宅地分譲)

社会文教常任委員会

◆期日 平成22年11月8日

1、町民課

①夜間窓口の利用状況について

3月～11月まで午後7時まで行っています。平成22年度の各種の証明証発行件数は34件で、年々利用者が減少傾向です。

この件で町長は一定の役割を終えたと思うので、いずれは廃止したいと表明しました。

②国民健康保険について

一人当たりの市町村平均保険税は年額9万1千585円、当町は9万8千210円で上から7番目です。

一世帯当たりの市町村平均保険税は年額15万4千663円、当町は16万7千549円で、県内で7番目です。

高額医療費で100万円以上は32件で、13件が「がん」が原因です。

③人間ドック

平成22年度現在、男性は46件、女性は49件で利用者が減少傾向にあります。

2、保健福祉課

①川船河の老人福祉センターの現地調査を実施しました。

浴槽工事に約70万円、大広間の改修工事に約149万円の費用でリニューアルし、利用者に好評とということですが。

②竹の友幼児園は、25名の園児が通園しているとのこと。また延長保育が予想以上に増加していることが明らかになりました。

3、教育委員会

①護摩堂山の歴史看板設置を現地調査しました。合計で29枚ですが、委員からは文字が小さいのでは？という指摘がありました。

②発達障がい児の現況について

説明を受けました。全国の小中学校で学習障がい、注意欠陥多動性障がい、高機能自閉症は6.3%で63万人いることが明らかになりました。

田上町では、特別支援学級があり、小中学校で11名いますが介助員等に対応しています。

②新学習指導要領が小学校で実施されます。学習時数は10%増えます。当町ではこの対策として、「小中学校運営に関する規則」を改定し、長期休暇を活用することで対応したいとの説明を受けました。

委員長 斎藤 勲



▲老人福祉センターの大広間

一部事務組合報告

中越福祉事務組合

第2回定例会

◆期日 平成22年10月28日

◆場所 まごころ学園

●平成21年度新潟県中越福祉事務組合歳入歳出決算の認定について

歳入 3億7千368万6千111円
歳出 3億4千735万892円

認定

●専決処分について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ48万6千円を追加し、予算の総額をそれぞれ3億5千78万6千円とする。

承認

●補正予算第2号

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ22万1千円を追加し、予算の総額をそれぞれ3億5千300万7千円とする。

原案可決

●副議長の選挙について

副議長に山田義栄氏当選

組合議員 川口 與志郎

一部事務組合報告

加茂市・田上町消防衛生組合

行政視察

◆期日

平成22年11月1・2日

◆視察先

埼玉県「久喜宮代衛生組合」

久喜宮代衛生組合を構成する久喜市・宮代町は、人口約19万人、埼玉県北東部地域に位置し、首都圏から40～50km圏内にあります。

ごみ焼却炉は1号炉が昭和50年、2号炉が昭和55年に竣工、老朽化が進み、2号炉を主体に、平成20年15億9千万円を投じ、大規模改修工事を行った。特色は、①計画立案から処分までを貫いて担い、②住民の協力で2分類・15種の徹底したごみ分類を実施、③資源化施策の二環として、現在3種類の堆肥を製造している。

焼却灰等最終処分量計が平成7年度で4千187tを平成21年度では2千350tで、1千837tの減少実績となった。

平成7年からげんりょう(減量・原料)化大作戦の実施により、リサイクル率26.9%が、平成21年度では40.3%となり、全国的にもトップクラスであるという事でした。

組合議員

関根 一義
渡邊 正策
中野 和美



三条地域水道用水供給企業団

行政視察

◆期日

平成22年11月17・18日

◆視察先

福井県日野川地区水道管理事務所

企業団事務所で、DVDを見て説明を受け、日野川地区水道企業団の事業をよく知ることができた。

平成17年度に完成した柘谷ダムより日野川に放流して約11km下流の浄水場へ水を送り、処理した水を水道として、平成18年12月1日より日野川流域の三市二町に二部給水を開始した。

組合議員

吉田 昭一
坪谷 久雄
池井 豊

順次給水量を増やし、平成25年度までには全量を給水する予定だということであった。先進地の視察であったと思う。

三条燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合

第2回定例会

◆期日 平成22年11月24日

◆場所 三条市役所

◎議第1号 平成22年度三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合会計補正予算について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ58万8千円を追加し、予算の総額を2億3千892万4千円とするもので、入所者の増による補正。

可決

◎認定第1号 平成21年度決算の認定について

歳入	2億3千561万9千630円
歳出	2億2千511万2千26円
差引	1千50万7千604円

認定

組合議員 塚野 一二三

議員の活動あれこれ

9月から12月定例会までの間に議員の研修会やいろいろなイベントがありました。臨時議会もありましたが、これらの出席をこなし、かなり多忙でもありました。

今回の活動は、田上町平和記念式典と竹の友幼稚園の「おたのしみ会」の2つを紹介いたします。

平和記念式典では、過去の戦争で出兵し、犠牲になられた方の御霊を慰霊し、その御霊に、二度と再び戦争は起こさない、田上町から今後は一人の犠牲者も出さないと誓いをいたしました。



「おたのしみ会」では子供たちの、健やかな成長を願い、その笑顔や純粋無垢な瞳とともに、友達や、親との強い絆をいっそう強めていくことを願っています。

平成22年11月10日に福島県浅川町議会のみなさんが、行政視察で来町し、議長・各常任委員長が対応しました。

竹の里づくりの説明を聞いた後、ごまどう直売所、竹の友幼稚園を視察されました。



お知らせ

議会を傍聴してみませんか。次の定例会は**3月4日(金)**からの予定です。請願は**2月25日(金)**までに提出されたものを3月定例会で審議します。

編集後記

今年の夏、秋、そして初冬と今までにない異常気象に見舞われました。がけ崩れなどで被害を受けましたが、家屋の被害がなかったことは不幸中の幸いでした。しかし農作物に大きな被害が出たことは痛恨の極みです。

田上町は、二つの自治体ではありませんが、国の政治の影響を強く受け、不況から逃れることはできません。しかし落ち込んでばかりはいられません。行政と議会が力を合わせこの難局を乗り越えて行きたいものと思います。

平成二十三年こそは皆さんにとつてよい年になることを心から願っています。

(川口 記)

委員長 渡邊 正策
副委員長 池井 豊
委員 塚野 二三
委員 斎藤 勲
委員 泉田 壽一
委員 川口 與志郎